



(4) 管理に係る収支の状況

【収入の部】

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	増減額	備考
指定管理料	23,880,000	23,880,000	-	
利用料金収入	8,540,000	8,810,843	270,843	
受取利息	1,000	90	△ 910	
雑収入	110,000	2,160	△ 107,840	
合 計	32,531,000	32,693,093	162,093	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	増減額	備考
人件費	13,850,000	13,738,917	△ 111,083	管理責任者、職員5名、アルバイト等
運 営 費				
消耗品・備品費	1,000,000	878,217	△ 121,783	
印刷製本費	400,000	286,200	△ 113,800	
光熱水費	4,300,000	4,204,276	△ 95,724	
修繕費	200,000	150,798	△ 49,202	施設修繕等
通信運搬費	600,000	525,131	△ 74,869	
手数料	100,000	48,544	△ 51,456	振込手数料ほか
保険料	140,000	124,630	△ 15,370	
委託料	8,000,000	7,940,337	△ 59,663	空調維持管理、電気保安管理ほか
使用料・賃借料	650,000	584,712	△ 65,288	コピー機ほか
租税公課	1,300,000	1,197,100	△ 102,900	消費税
旅費	100,000	45,630	△ 54,370	ドイツ館PR活動
広告宣伝費	200,000	141,315	△ 58,685	
雑費	91,000	32,997	△ 58,003	
小 計	17,081,000	16,159,887	△ 921,113	
事業費				
活性化イベント	1,600,000	1,492,418	△ 107,582	
小 計	1,600,000	1,492,418	△ 107,582	
合 計	32,531,000	31,391,222	△ 1,139,778	

差し引き収支額                      1,301,871 円

3. 平成29年度鳴門市からの指定管理者への補助金及び委託料

(1) 補助金明細

な し

(2) 委託料明細

(単位：円)

事業名	決算額	担当課
賀川豊彦記念館管理業務（指定管理料）	3,680,000	文化交流推進課
ドイツ館管理業務（指定管理料）	23,880,000	文化交流推進課

#### 4. 管理運営状況について

開館日数	導入前	326日	開館時間	導入前	9時30分～17時
	H26	349日		H26	9時30分～17時
	H27	350日		H27	9時30分～17時
	H28	349日		H28	9時30分～17時
	H29	348日		H29	9時30分～17時
利用者(件)数及び施設使用者(件)数	H25	2階入館者数 24,323人 イベント参加者数1階 19,417人 2階 15,858人	モニタリング 評価結果	評価 (A～C)	<b>B</b>
	H26	2階入館者数 25,638人 イベント参加者数1階 23,525人 2階 17,821人		施設所管課 所見	
	H27	2階入館者数 28,532人 イベント参加者数1階 17,381人 2階 18,697人		履行確認(*1)	
	H28	2階入館者数 28,984人 イベント参加者数1階 22,806人 2階 13,035人		施設の適正な管理のほか、職員には毎月勉強会を行い専門知識の習得に努めるなど、人材育成に努めた。	
	H29	2階入館者数 31,640人 イベント参加者数1階 19,813人 2階 29,314人		サービス水準(*2)	
利用料金及び使用料収入について	ドイツ館の利用状況は、平成18年度をピークに平成25年度まで減少していたが、平成26年度から増加に転じ、平成29年度も前年度を上回る入館者数及び利用料金収入となった。				
利用サービス向上策	指定期間 共通	休館日を減らすなど、利用者利便性の向上に努めた。 毎年趣向を凝らした日独交流イベントを開催し、入場者数の増加に努めた。 職員にドイツに関する知識を習得するため研修を行った。			
	H26	定着したイベントの継続に加えて、新イベントを複数実施し、来館者数の増加につなげた。また、1人の来館者でも希望があれば、館内ガイドを行うなど、利用サービスの向上に努めた。			
	H27	新たに「市民デー」などの各種イベントを開催するとともに、人権研修の場としても利用してもらえるように、中国、近畿地方の各市民生児童委員会等への働きかけや小学校を中心とした学校の校外研修に積極的に取り組み入館者の増加に努めた。			
	H28	来館者にとってわかりやすく関心の持てる内容でのガイドや、県民は入館料を無料とする「徳島県民デー」の開催、小学校を中心とした学校の郊外研修に積極的に取り組むなど、利用サービスの向上に努めた。			
	H29	館内のWifi環境により、利用者が電子機器で情報等を取得しやすいよう利便性の向上を図るとともに、ワイヤレスマイクの活用により、外国人団体客や年配の利用者が聞き取りやすいガイドに改善した。			

#### \*評価(A～C)の定義

- A・・・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- B・・・協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- C・・・協定書等を遵守しているものの、内容の一部に課題がある、または改善の必要な内容である。

#### \*施設所管課 所見

- (\*1) 履行確認・・・協定書や仕様書等に定められた事業や業務等の履行状況の確認を行います。
- (\*2) サービス水準・・・どの程度の水準のサービスを提供しているのかについて測定・評価します。
- (\*3) 安定性評価・・・サービス提供の継続性・安定性について収支状況や事業計画と実績との比較等により確認・評価を行います。